

目次

1	大切にする価値観	3	4	価値創造の基盤となる取り組み	
				サステナビリティの取り組み	53
2	トップメッセージ	7		地域共生	57
				地球環境	59
				人財戦略	75
3	めざす未来に向けた価値創造プロセス			CFOメッセージ	85
	長期ビジョン実現に向けた価値創造ストーリー	13		コーポレート・ガバナンス	89
	中期経営計画2025重点戦略			特別座談会	97
	鉄道の安全性向上	21		内部統制システム	101
	主要事業の活性化と構造改革	29		グループリスクマネジメント	102
	不動産・まちづくりのさらなる展開	39		企業倫理・人権	105
	デジタル戦略による多様なサービスの展開	41		情報セキュリティ	111
	新たな事業の創出	43	5	データ集	
	特集 長期ビジョン実現を支えるイノベーション	47		非財務データ(環境)	115
	特集 グループ一体となったインパウンド需要の取り込み	51		第三者保証	117
				非財務データ(人財)	119
				11カ年財務サマリー	121
				財務諸表	123

編集方針

本レポートは、JR西日本グループにおけるさまざまな取り組みと、それがもたらす価値についてお伝えし、多様なステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。

なお掲載情報は、特にお伝えしたい内容を抽出し掲載しているため、取り組みの全体については当社ウェブサイト内の各ページをご覧ください。

情報開示体系

報告対象期間

原則として2023年4月～2024年3月

主要な参照ガイドライン

国際統合報告フレームワーク

[価値報告財団(VRF)]

価値協創ガイダンス 2.0

[経済産業省]

報告対象範囲

原則としてJR西日本グループ

(一部、単体での取り組みも含めています)



見通しに関する注意事項

このレポートでは、JR西日本グループの事業、産業および世界の資本市場についてのJR西日本グループの現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明には、さまざまなリスクや不確かさがつきまといています。通常、このような将来への展望に関する表明には、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、またはこれらに類似する、将来のことを表現する言葉が用いられています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本グループの財務状況についての予想を含み、またはその他の将来の展望について述べています。

すでに知られたものもしくはまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄と大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本グループは、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本グループの実績の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスクおよび要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。

- ・財産もしくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、もしくは悪い評判
- ・経済の悪化、デフレおよび人口の減少
- ・日本の法律、規則および政府の方針の当社にとって不利益となる変更
- ・旅客鉄道会社および航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引き下げおよびその他の戦略
- ・感染症の発生・流行
- ・地震およびその他の自然災害のリスクおよび情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害

このレポートに掲載されたすべての将来の展望に関する表明は、JR西日本グループに利用可能な情報に基づいて2024年10月末現在においてなされたものであり、JR西日本グループは、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。